# 取扱説明書

## MODEL　ETD10-RH

## 測温抵抗体温度変換器

### 警　告

・誤った取り扱いをすると、死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を示します。

### 注　意

・入力に最大許容値を超える電圧や電流を印加すると、機器の破損につながりますのでご注意してください。
・電源入力は使用可能範囲内でご使用してください。使用可能範囲外で使用しますと火災・感電・故障の原因となります。
・ちり、ゴミ、腐食性ガス等のない場所や振動、衝撃がかからない場所でご使用ください。

■概要

本器は測温抵抗体入力を各種の統一信号に変換して出力する物です。
3.5mmネジ端子を使用した端子台構造ケースを採用し、DINレールにワンタッチで取付可能です。
又、入力・出力・電源の3ポートが絶縁されていますので、機器のノイズ対策等信頼性の向上と、機器の小型化にお役に立つものと確信いたします。

■型式

ETD10-RH-□ □ 1
- 入力仕様
- 出力仕様
- 電源仕様

■入力仕様　Pt100Ω 3線式 (C1604-1997)

| コードNo. | 入力信号 | 許容入力値 |
|---|---|---|
| 1 | Pt100Ω　-20～80℃ | -50～150% |
| 2 | Pt100Ω　0～300℃ | |

■出力仕様

| コードNo. | 出力信号 | 出力負荷抵抗 |
|---|---|---|
| 2 | DC -10～10V | 4kΩ以上<br>負出力時は10kΩ以上 |
| 5 | DC0～20mA | 550Ω以下 |

■電源仕様

| コードNo. | 電源仕様 |
|---|---|
| 1 | DC 24V±10% |

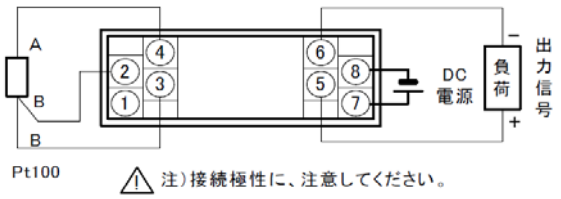
■一般仕様

| | | |
|---|---|---|
| 基準精度 | ： | ±0.1%F.S(25℃±2) |
| 電源変動 | ： | ±0.06%F.S |
| 負荷変動 | ： | ±0.06%F.S |
| 温度特性 | ： | ±0.02%F.S/℃ |
| 断線検出 | ： | 上方 (135±10%F.S) |
| 応答時間 | ： | 50msec TYP.(規定出力の90%に至る時間) |
| VR可変幅 | ： | ±5%F.S以上 (ゼロ, スパン) |
| 絶縁抵抗 | ： | 入力ー出力ー電源各間100MΩ以上(DC500V) |
| 耐電圧 | ： | 入力ー出力ー電源各間AC1500V1分間 |
| 供給電源 | ： | DC 24V±10% |
| 消費電流 | ： | 55mA以下(DC24V 電圧出力時)<br>35mA以下(DC24V 電流出力時) |
| 動作周囲温度 | ： | -5～+50℃ |
| 動作周囲湿度 | ： | 90%RH以下(結露無きこと) |
| 保管温度 | ： | -10～+70℃ |
| 保管湿度 | ： | 60%RH以下(結露無きこと) |
| ケース材質 | ： | 黒色ABS樹脂 94V-2 |
| 質量 | ： | 約80g |
| 耐振動 | ： | 振動数: 10～55Hz, 片振幅: 0.15mm<br>X, Y, Z 各方向5min×10 掃引 |

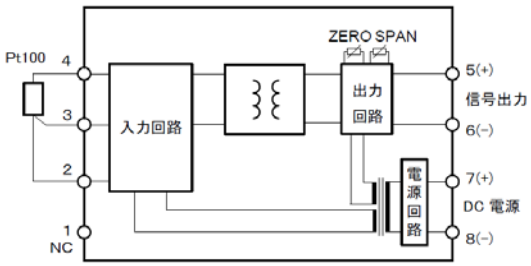
■付属品

無し

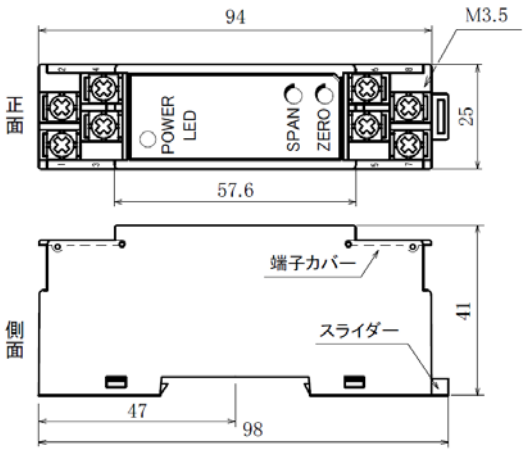
■入出力接続図




■ブロック図




■外形寸法図



■調整

本器は外部よりゼロ点及びスパン幅の調整が出来る様になっておりますが、出荷時に調整済みですので手を加える必要はありません。
永年精度を保証する為に定期校正をされる場合は、正しい測定器により電源投入後、30分以上経過後行ってください。この場合使用する測定器は本器の精度の10倍以上の確度を有する標準測定器をご使用ください。

・ゼロ調整

疑似入力信号0%相当値を入力し、この時の出力が出力仕様の0%となるようにZEROボリュームを回してください。

・スパン調整

疑似入力信号100%相当値を入力し、この時の出力が出力仕様の100%となる様にSPANボリュームを回してください。

上記を数回繰り返して入力を最小と最大に切り換えた時に、出力が出力仕様に入るようにしてください。

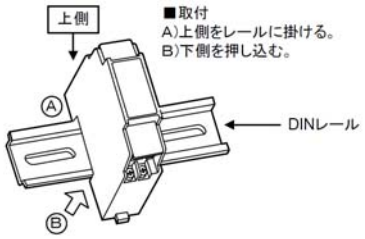
■注意事項

・保存温度-10℃～+70℃以内　湿度60%以下の範囲で保存してください。
・ちり・ゴミ・電気部品に有害な化学薬品・ガス類等のない場所でご使用ください。
・振動・衝撃がかからない様にしてください。
・ノイズ等の影響を減らすため入出力配線を電源配線と同一結束・同一ダクト内で使用することは避けてください。
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには30分の通電が必要です。

■取り付け・取り外し方法

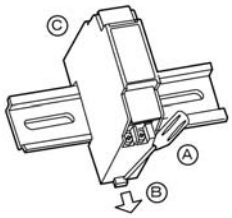
■取り付け

A）上側をレールに掛ける。
B）下側を押し込む。




■取り外し

A）ドライバー等でスライダーを押し下げる。
B）手前に引いて下側を外す。
C）上側をレールより外す。




注）取付後にずれるおそれがある時は止め金具を使用される事をおすすめします。

お問い合わせ窓口

株式会社 ミスミ　　エレクトロニクス事業部
〒135-0016 東京都江東区東陽4-1-13
東陽セントラルビル5F
TEL：03-3647-7715　　FAX：03-3647-7416
E-mail：wiring@misumi.co.jp

20110820